

佳作
(中学部門)

桐蔭学園中学校 (神奈川県)

3年

柿沼 かきぬま

未来 みき

私の人生じゃないもの、あなたの人生でしょう。

母

母は私を叱る際、よくこの言葉を口にする。そしてその後、「後悔しないならいいんじゃない？ 好きにすれば」と続けるのだ。

小さい頃、こう言われると気に食わないときもあった。「人生」だなんて大げさな、と感じていたこともある。でもいつしか、私はこの一見冷たく投げやりにも思える言葉に母の愛情を感じるようになった。「私の人生じゃない」と言う母は、実は私の人生に一番密接していると気がついたからだ。色々なことを教えてくれ、支え、励まし、いつだって母は私の人生を私以上に考えてくれていた。そう感じてからは、この言葉は母の照れ隠しのようにも思えてきた。

「好きにすれば」なんて、本当はさせないのにお母さんったら。